

2018年度AO入試課題(経済学部・A方式)

◇ 課題の作成に当たっては別紙の注意事項に従い、作成してください。

課題

二つの課題文のうち、一つを選択してください。選択した課題文をよく読んでください。その後、その要約、近年の動向、あなたの考えなどの下記の設問に答えてください。

課題文1 竹内淳彦・小田宏伸編著『日本経済地理読本(第9版)』, 2014年, pp.133-141
(第4章 第1節 北海道—地域経済の自立性を求めて)

課題文2 浅子・飯塚・篠原編「入門・日本経済(第5版)」有斐閣 第9章「貿易」
P310-312 第1節 日本の貿易 1.1 日本の貿易の重要性
P318-321 第2節 日本の直接投資と生産ネットワーク 2.1 日本の直接投資の動向
P322-325 第2節 日本の直接投資と生産ネットワーク 2.3 生産ネットワークの進展

課題文1

- (1) 課題文を1,200字以内に要約してください。
- (2) 北海道庁が公表している「道民経済計算」から、平成26年(2014年)の道内総生産と一人当たり道民所得それぞれ調べて答えてください。また、道内総生産について、農業、製造業、卸売・小売業のうちで平成26年度の対前年度増加率が最も低い産業を調べてその数値をこたえてください。ただし、調べた本あるいはホームページを明記すること。
キーワード：北海道庁，道民所得，道内総生産
- (3) 北海道では、今後、人口減少と急速な少子高齢化が進むと予測されています。その一方で、道内人口の札幌市一極集中が、ますます進展することも予測されています。札幌市への人口集中に対してどのような対策が必要だと思うか、あなたの考えとその理由について600字以内にまとめてください。

課題文2

- (1) 課題文を1,200字以内に要約してください。
- (2) 財務省が公表している「国際収支状況」から、平成28年(2016年)(暦年)の日本の対外直接投資(実行、回収、ネット)を調べて答えてください。ただし、調べた本あるいはホームページを明記すること。
キーワード：対外・対内直接投資の推移 国際収支状況
- (3) あなたは、今後日本はアジアや他の世界の国々とのような経済関係を作るとよいと考えますか。あなたの考えとその理由を600字以内にまとめてください。

作成上の注意事項

課題を作成するに当たっては以下の注意事項を守って作成してください。注意事項は裏面にもありません。

全体を通して

1. 作成に当たってはレポート用紙への記入は「手書き」でも「ワープロで作成したものを貼り付ける」のどちらでもかまいません。ワープロで作成した文書をプリントアウトして貼り付ける場合は、はがれないようにしっかりとのり付けしてください。
2. 課題に取り組む際には、インターネットや新聞・雑誌・本などで問題点について調べてください。ただし、これらの文章を書き写した(盗作した)場合は厳重なペナルティを課します。あくまでも自分の言葉で書いてください。

課題に関して

3. 問題点の説明は、高校の教科書やインターネット・新聞・雑誌・本などで問題点について調べてください。ただし、これらの文章を書き写した(盗作した)場合は厳重なペナルティを課します。できるだけ自分の言葉でまとめてください。
4. 自分の考えについては、どのようにすれば改善されるか、今後の日本経済はどのようなのかといった事柄を自分の言葉でまとめてください。
5. (3)の課題については課題文を読んで、設問に対するあなたの考えを600字以内でまとめてください。この設問に対する解答は一つだけではありません。自由な発想であなたが考えたアイデアとその理由をまとめてください。
6. 課題を行うに当たって用いた資料を参考文献欄に必ず記入してください。記入の仕方は以下の通りです。

(新聞の場合)『北海道新聞』2015年12月31日付朝刊

(図書の場合)平澤亨輔ほか著、「拓銀破綻後の北海道経済：地域再生と金融の役割」,

日本経済評論社,2008年

(教科書の場合)「政治・経済」,三省堂

(HPの場合)環境省「環境経済成長ビジョン～チャレンジ25を通じた経済成長～」

<http://www.env.go.jp> (ホームページアドレスは” …… .jp” までを記入すること)

課題に関する質問の受付

7. 課題に関して質問がある場合、一度だけ受け付けます。レポート課題について、教員への直接問い合わせたい場合は、第1グループ(旭川、北見、帯広、釧路)は9月6日(水)から9月8日(金)までの期間に、第2グループ(函館、青森、本学)は9月20日(水)から22日(金)までの期間に下記のメールアドレスから質問をしてください。なお、問い合わせ方法は、メールのみとします。件名欄に「AO課題の質問」として、本文に質問内容を記入してください。

問い合わせ先：asakawa@sgu.ac.jp

※経済学部浅川が対応します。大学研究室のパソコンで使っているアドレスです。携帯電話からのメールの場合、パソコンからのメール受信を拒否する設定をしていると、浅川からのメールを受信できませんので設定を変更してください。